

現 行	改 正	備 考
<p data-bbox="311 667 1086 835">空港土木施設設計要領 (舗装設計編)</p> <p data-bbox="460 1451 946 1570">平成31年4月 (令和7年4月一部改正)</p> <p data-bbox="406 1755 1003 1812">国土交通省航空局</p>	<p data-bbox="1445 667 2220 835">空港土木施設設計要領 (舗装設計編)</p> <p data-bbox="1593 1451 2080 1570">平成31年4月 (令和8年4月一部改正)</p> <p data-bbox="1540 1755 2136 1812">国土交通省航空局</p>	

現 行	改 正	備 考
<p>第Ⅲ章 アスファルト舗装の補修 Ⅲ-4.6 材料設計 (1) ～(9) 省略 (10) アスファルト混合物層が厚くなる場合には、層間に作用するせん断力の低減を図るため、表層・基層の厚層化について検討する必要がある。大粒径アスファルト混合物を使用したシックリフト (thick lift) 工法⁷⁷⁾は有効な工法のひとつであるが、日々供用しながらシックリフト工法を実施する場合には、あらかじめ、交通開放温度の確保や粗骨材の飛散防止等について十分に検討する必要がある。</p>	<p>第Ⅲ章 アスファルト舗装の補修 Ⅲ-4.6 材料設計 (1)～(9) 省略 (10) アスファルト混合物層が厚くなる場合には、層間に作用するせん断力の低減を図るため、表層・基層の厚層化について検討する必要がある。大粒径アスファルト混合物を使用したシックリフト (thick lift) 工法⁷⁷⁾は有効な工法のひとつであるが、日々供用しながらシックリフト工法を実施する場合には、あらかじめ、交通開放温度の確保や粗骨材の飛散防止等について十分に検討する必要がある。<u>本工法を適用するにあたっての留意点を付録-25 に示す。</u></p>	<p>シックリフト工法の適用留意点を追記した。</p>
<p style="text-align: center;">参考文献</p> <p>1)～103) 省略</p>	<p style="text-align: center;">参考文献</p> <p>1)～103) 省略 <u>104) 坂本岳志：関西国際空港防災機能強化対策における A 滑走路嵩上げ工事について，第 23 回空港技術報告会論文集，2022.</u> <u>105) 中国地方整備局中国技術事務所，日本道路建設業協会中国支部：QRP 工法設計・施工技術指針（案）[第 2 回改訂版]，2007.</u> <u>106) 安倍隆二，岳本秀人，衛藤謙介：新千歳空港舗装体の劣化原因調査および対策工法の検討 土木学会舗装工学論文集，第 8 巻，pp.261-272，2003.</u> <u>107) P. S. Kandhal: Testing and Evaluation of Large Stone Mixes using Marshall Mix Design Procedures, National Asphalt Pavement Association, Information Series 108, 1990.</u> <u>108) ASTM: D3515. Standard Specification for Hot-Mixed, Hot-Laid Bituminous Paving Mixtures, 2001.</u></p>	<p>付録-25 の参考文献を追加した。</p>